

かけはし

2021年12月 編集・発行
第39号 県立南会津病院

☎0241-62-7111 (総務) ☎
0241-62-7113 (医事)



今回のかけはしは、当院の取組みを一部紹介します。
引き続き、基本的な感染対策を徹底し、楽しい年末年始をお迎えください。
院長 佐竹 賢仰

感染管理担当から3つお知らせいたします。

○ その1 今年リニューアルした発熱外来について

昨年4月から病院内で運用しておりました発熱外来を、今年10月に屋外へ移転しました。
発熱外来を屋外に移したことで、診察から検査、入院までの移動距離が短縮され、受診する患者さんの負担軽減につながられるようになりました。



○ その2 年末年始の帰省について

年末年始の帰省シーズンを迎えると、人流の増加に伴う感染の再拡大が懸念されます。
帰省を予定されている方には、帰省の2週間前から同居家族以外との飲食や接触を控えることが大切です。これは、新型コロナウイルスに曝露した日から2週間は発症する可能性があるという理由からです。帰省前のPCR検査が陰性でも、帰省中に発症する可能性があるということを念頭に行動していただくことが感染の抑制には大切です。

○ その3 マスクの種類について ~「不織布のマスク」を使用しましょう~

使用感や外観の豊富さから「ウレタン製のマスク」を使用している方もいらっしゃると思います。

しかし、表に示されている通り、飛沫の抑制に関して最も効果のないマスクになります。人と接する時には「不織布のマスク」を使用し、それ以外の場面では「ウレタン製のマスク」を使用する等の使い分けが大切になります。

自分はもちろん、大切な家族や友人を守るためにも、一人一人が感染予防に取り組み、楽しい年末年始を迎えましょう。

マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
		不織布	布マスク	ウレタン		
吐き出し飛沫量	100%	20%	18~34%	50%*	80%	90%*
吸い込み飛沫量	100%	30%	55~65%*	60~70%*	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)	

* 豊橋技術科学大学による実験値

新しく赴任された先生のご紹介

菅原 由紀子 先生 (内科)

皆さん、こんにちは。9月まで福島県立医科大学附属病院で診療し、10月より当院にて診療を行っております。

専門は循環器疾患 (心臓の病気) です。息切れや胸痛、動悸などありましたらご相談下さい。

地域の皆様のお役に立てるよう努力してまいります。

どうぞよろしくお願い致します。



□ 認定看護師、活動してます！

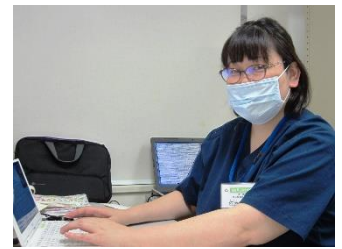
南会津地域のみなさま、こんにちは。

南会津病院 1 病棟に勤務している認知症看護認定看護師の佐藤久美です。2018年より当院を中心に入院中の認知症患者さん対応や地域の方を対象とした出前講座、訪問看護の同行などの活動しております。

近年、南会津地域では高齢化が進み認知症高齢者の方が増加しています。同じことを何度も言う、しまい忘れや置き忘れ、約束の日時や場所を間違え、通帳や財布を盗まれたと人を疑う、今まで出来ていた料理などが出来なくなったなどの症状が初期にみられることがあります。

また、認知症の原因も様々で、原因となる病気によっては薬で進行を遅らせたりすることも可能な場合があります。早期発見、早期治療をお勧めします。

一方で受診をしてみたら「認知症かと思ったら実はそうではなかった」という場合もあります。患者さんご自身や、ご家族の方など認知症と思われる症状や不安などで悩んでいらっしゃる方は是非、お気軽に当院へご相談下さい。お待ちしております。



認知症認定看護師
佐藤主任看護技師

□ オンライン資格確認が始まりました！

マイナンバーカードによる保険証利用（オンライン資格確認）が、10月20日から始まりました。

○ オンライン資格確認により

- ・ 受付での保険証確認の時間短縮
- ・ 高額療養費の限度額適用認定証発行が不要

などの効果が期待されます

※ 健康保険証での受付方法は従来とおりです。(変更ありません)

※ 医療機関等の窓口では、マイナンバーカードは預かりません。

※ 受付の際は、カードリーダーにマイナンバーカードを置くだけです。



□ 皆さん、こんにちは！

この記事は、当院の各部署をリレー形式で紹介するコーナーです。
今回は、外来部門からです。

皆さん、こんにちは！

私たちは外来部門を担当しています。

外来スタッフは、通常診療の診察介助の外、内視鏡、手術室、発熱外来、救急外来、化学療法及び訪問診療など、いろいろな診療に関わっています。

これらたくさんの経験を積んだ看護師が、力を入れているのが継続看護です。住み慣れた地域で安心して暮らせるよう療養支援を行っています。

日常生活などで心配事がある方は、気軽に声を掛けてください。

～次回は、透析部門を紹介します～



～編集後記～

明日の天気はどうか？ 全国の天気予報では仙台なのか新潟なのか、または東京をみればよいのか迷ったものです。今までJRなど「東日本」になじみがありましたが、全国区分の場合、東北と北海道は「北日本」、地方区分の場合、会津地方は「東北日本海側」、浜通りと中通り地方は「東北太平洋側」または福島県は「東北南部」に区分けされることを、最近知ったところです(^_^;)

ここ数年、天気予報で「経験したことのないような〇〇（大雨など）」と聞くことが多くなりました。気象用語を正しく理解し、日々の生活に役立てたいと思います。
(事務次長)